



仕 様

測定範囲	0.2 ~ 5ppm
試料液量	5ml以上
測定時間	2 ~ 4分間
検知限度	0.05ppm
色の変化	白色 青色
反応原理	-トリジン，硫酸銅と反応して錯塩を生成する。
有効期限	2年
経年変化	変色層の境界が不明瞭になり，指示が低くなる。
使用温度範囲	0 ~ 40 (温度の影響なし)
pHの影響	なし(6 ~ 13)
検知管の校正方法	シアン化カリウム標準溶液

注) 直接吸引法の測定にはゴム球(B・200型，別売)を使用する。又，従来のコンウェイ拡散器を使用した拡散吸引法でも測定できる。その場合はシリンジを検知管に接続して等速度で2分間吸引し，読取値を1/2倍して真の濃度を求める。

拡散吸引法の測定範囲は0.1 ~ 2.5ppmとなる

他のイオンの影響

直接吸引法

妨害物質	濃度 [ppm]	影響
炭酸イオン	1,700	指示が高くなる
塩素イオン	100	"
チオシアン酸イオン	200	"
イオウイオン		"
硫酸イオン	2,700	指示が低くなる
重クロム酸イオン		反応剤が変色し，検知しない
過マンガン酸イオン		"
フェリシアンイオン		"
残留塩素		"

拡散吸引法

妨害物質	濃度 [ppm]	影響
炭酸イオン	850	指示が高くなる
塩素イオン	100	"
チオシアン酸イオン	200	"
イオウイオン		"
フェリシアンイオン	200	"
硫酸イオン	2,700	指示が低くなる
残留塩素		反応剤が変色し，検知しない